

コンテストで2つの金賞

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2024年1月16日
第56号

吹奏楽部、札幌地区大会 「努力が報われた」

1月7日、8日、第60回北海道管楽器個人コンテスト・第55回北海道アンサンブルコンテストが札幌のキタラで開催された。個人ではサクソスの木村花音さん(2-2)、アンサンブルではクラリネットの亀石滯さん(2-3)、今堀帆乃香さん(1-3)、荻野華奈さん(1-4)が出場し、共に金賞を受賞した。



管楽器個人コンテスト
左から顧問の水澤大地先生
木村花音さん、谷津祐子先生



アンサンブルコンテスト
左から今堀帆乃香さん
亀石滯さん、荻野華奈さん

リハーサル室で



クラリネット3重奏「紅影」(作曲:片岡寛晶)

現代的な手法とアラビア音階を取り入れた3つの章から成っており、冒頭は各ソロによる緊張感のある歌、旋律が今後の展開を感じさせる。中間部では曲の方向性がはっきりと決まる瞬間を表現。後半部は感情的な部分を音だけでなく足にもその気持ちを込めた。土俗的な舞踊、終盤においては失速することのない真っ直ぐな音楽で聴く人の心を掴む。

3人だからこそできる音の動きを感じさせるアンサンブル、そして透明感がある。(作曲者による紹介より)

今堀帆乃香さんは「出だし、自分のソロが会場いっぱいに響き、感謝している」と述べた。

荻野さんは「めっちゃめっちゃ緊張して不安だった。他の二人が平気そうだったので自分も頑張らないと思った。金賞がとてもうれしい」と語った。

亀石滯さんは「金賞の実感はない。個人としては練習通りに吹けなかった所もあったが、全体としては120点の出来映え。長い練習期間中、体調が優れないこともあったが、今回の結果に「これまで頑張ってきた甲斐があった」と思う。クラリネットの先生、顧問、二人の仲間感謝している」と述べた。

「ファンタジー」は水澤先生の恩師である谷津祐子さん(音楽大学・専門学校講師)のピアノ伴奏で木村花音さんがアルトサクソスを演奏した。「曲想の変化が大きく、何を伝えたいのか考え、表現した。本番で練習通りにいかなかった所はあったが、表現力、音色の美しさを評価して頂いた」と語った。部長として夏のコンクールに向けて力を合わせ高めていくつもりだ。

アンサンブル
ソロが会場に響き、楽しく演奏できた(今堀帆乃香)

個人コンテスト
表現力、音色の美しさ評価

ファンタジー(作曲:ドゥメルスマン)

華やかで力強いピアノの前奏が世界観を創る中にサクソスが太く魅力的な音色で豊かなメロディーを響かせる。迫力のあるパートのあと、低音域のゆったりしたパートではどこか懐かしいような温かみを感じさせ、一転非常にテクニカルで華やかなパートを一気呵成に聴かせる。